

5. 薬剤保管上の注意

- 薬剤を保管する時は、光にあてないようにし、湿気を避けて保存してください。
- 薬剤は子供の手の届かないところに保管してください。

6. 他の病院や診療科を受診する時

- 他の医師や歯科医師の診療を受ける時や、不慮の事故等で受診する時にも、必ずワーファリンを服用していることを伝えてください。

この注意を家族や周りの方に知らせて協力を得ることもよい方法です。

(監修:国立病院機構大阪医療センター 院長 是恒 之宏先生)
主治医への連絡法等をご記入ください。

ワーファリン錠 5mg を服用される方へ

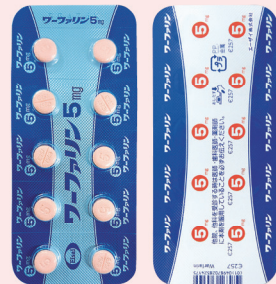
大切な注意です。必ずお読みください。

ワーファリン錠 5mg



(実物大)

ワーファリン錠 5mg(PTPシート)



あなたはワーファリンによる抗凝固薬療法を受けています。血栓や出血の危険を避け最適な治療を受けるために次頁以降の注意事項を必ずお守りください。

他院、他科を受診する時は医師・歯科医師・薬剤師に本剤を服用していることを必ずお伝えください。

裏面をお読みください。

1. 本治療施行中は、定期的に受診し、必ず主治医の指示通りに服用してください。

- あなたに最も適したワーファリンの量を決める必要があります。
これは血液検査を定期的に行うことによって決められます。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、飲むべき時間から半日以上経過していたら、1回分を飛ばし、次から規則的に飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。

2. 間違えて多く服用してしまった時はすぐに主治医・薬剤師に連絡してください。

3. 次のような時は必ず事前に主治医に相談してください。

- 手術や抜歯をする時
- 他の薬剤を服用したり、止めたりする時
骨粗鬆症治療用ビタミンK₂製剤(メナテトレノン)、抗リウマチ剤(イグラチモド)、口腔・食道カンジダ症治療剤(ミコナゾール・ゲル剤)、深在性真菌症治療剤(ミコナゾール・注射剤)とは併用しないでください。
また、アスピリンなどの鎮痛、解熱剤や風邪薬

などの一般薬を薬局で買って飲む時にも主治医・薬剤師に相談してください。

4. 日常生活での注意

- ケガをする恐れのある仕事や運動は避け、また気付かないうちに打撲などしないように注意してください。
自分で傷つけるようなことは絶対にしないこと。
- 偏った食事をせず、体調の維持に気をつけてください。
たとえば極端に脂肪の多い又は少ない食事をしたり、一度に沢山の飲酒をしないこと。
- ビタミンKを多量に含む納豆、クロレラ、青汁はワーファリンの効果を弱めるので絶対に食べないでください。
- 歯ぐきの出血、原因不明の出血、血尿、血便など、普段と違うことを感じたらすぐに主治医の診療を受けてください。
- 本剤使用中は妊娠しないように注意し、妊娠を希望する時は主治医に相談してください。